

くらすクラスの運営拠点「くらす広場」が「第3回まちなか広場賞」奨励賞を受賞しました

JR東日本八王子支社（執行役員八王子支社長：坂本 浩行^{さかもと ひろゆき}）は、JR南武線矢野口—南多摩駅間を中心とした沿線を地域の皆さまとともに活性化するプロジェクト「くらすクラス」に取り組んでいます。このたび、「くらすクラス」の運営拠点である「くらす広場」が、9月8日（金）に大阪府大阪市にて開催された「第3回まちなか広場賞」授賞式において、奨励賞を受賞しましたので、お知らせします。本賞はJR東日本グループとして初の受賞であり、地域の皆様を主役に、地域全体の価値向上に資するコミュニティ拠点づくりを進めている点を高く評価頂きました。今後も南武線高架下を中心に、「くらすクラス」の活動を通じて地域の魅力発信、地域資源をいかした文化の醸成に取り組んでまいります。

※一般社団法人いなぎくらすクラス、株式会社 Energy Labo との共同応募です。



1. 「まちなか広場賞」とは

まちでの多種多様な活動の受け皿、居場所の創出、出会いの機会の提供など、暮らしをより豊かにする役割を果たしている萌芽的、発展的、独創的な「まちなか広場」を表彰するものです。本賞を通じ、「まちなか広場」への理解・関心の向上、よりよい空間づくりのための技術の普及、愛着を持たれる広場に育てる運営手法の発展が図られています。

主催：一般社団法人国土政策研究会 公共空間の「質」研究部会

共催：全国まちなか広場研究会

2. 「くらす広場」の評価ポイント

- ・ 広場を拠点とした地域全体の価値向上を視野に入れた上で、あらゆる面において地域住民を「主役」にすることに徹底しながら取り組みを進めている事を最大のポイントとして、評価頂きました

- ・ 稲城市在住メンバーで構成され、広場のイベント等企画・管理・運営を一体的に担う法人を設立したことに加え、幅広い人が運営に関われる体制づくりや仲間の輪を広げる仕組みづくりについて、継続的な運営・管理に向けた発展を期待できると高く評価頂きました

- ・ 今後さらに稲城市内外の多世代・多様な人たちの暮らしに寄り添った広場となるようご期待を寄せて頂きました



▲表彰式の様子



くらすクラスの概要

くらすクラスは、J R南武線沿線の魅力をより一層広く発信するために、J R東日本が稲城の地域の皆さまと連携してつくってきたプロジェクトです。

2016年4月に開校し、J R南武線矢野口駅-南多摩駅間の高架下を中心に、稲城市全体をフィールドとして、誰もが参加できる稲城ならではの学びを「クラス（講座）」として展開しています。

また、運営主体となる一般社団法人いなぎくらすクラスでは、クラスのほかに、みんなの居場所・表現の場となる JR 稲城長沼駅高架下広場「くらす広場」の運営、くらす市（マルシェ）の企画・運営、くらす広場で稲城の素材をたっぷり使ったサンドイッチやドリンクなどを提供する“Kura-stand”の運営などを行っています。

J R東日本と一般社団法人いなぎくらすクラスは、これらの活動を通じて、新たなコミュニティづくりのサポートを行い、自然、農産物、稲城での暮らしなど、地域独自の魅力発信と、これらの地域資源をいかした文化の醸成を目指しています。なお、7月13日に実践女子大学（東京都日野市）と連携協定を結び、協働での取り組みも進めています。

[活動風景（一例）]



▲「くらす広場」は日常的に、遊具で遊ぶ子どもたちでにぎわう



▲おとなも子どもも楽しめるクラス（講座）を開催。
写真はろくろを回すクラス



▲季節毎にテーマを設け、くらす市（マルシェ）を開催



▲テイクアウト型のサンドイッチ店（kura-stand）を併設